就

任

0)

挨

極みでありま

五所川原市長

111

內

三

郎

であり、その措の解消策と財政をの最大のもの

き 2 とは 善い事を自分の手柄で、悪いことは人の所為にしたがる心である これが愛の祕訣である。 も求めずに愛せよ。 めた愛は必ず不幸に終る。

新しきものを喜んで受容れる心は生長する心である。 を摑む である。

を にまで殆り にまで発り

ところでその人権とは一路 はようか。通常日本国憲法の り人権と規定されているも 国民の権利義務の章に基本 のを指すのであります。 のを指すのであります。 のを指すのであります。 のを指すのであります。 のを指すのであります。 になった。このでは、我々のにまで殆んと日常語になついた子供収場において、また家庭に収場において、また家庭に収場において、また家庭にいうような言葉は、我々の る報道機関は人権問題 人権侵害と しいことだ||二月パリーでした。これ||四八年(昭和とりあつか| は一際連合総会においてザーにはいろこうして人権を尊重し、こ 真の人権尊重へに基本 国とが達成すべき共通の基 するものに対する美に基本 国とが達成すべき共通の基 するものに対する美にある。 布告されたのであります。 いるようであります。 いるようであります。 いるようでありまるという運動は、国 ろに、個人の幸一ないて行われる。家庭生活も、マールにはいろこうして人権を尊重し、こ 真の人権尊重へいるようであります。 いるようであります。 いるようであります。 いるようであります。 いるようであります。 いるようであります。 したれば、 したれば、 したれば、 したれば、 したれば、 したれば、 したれば、 したれば、 したれば、 したは、 したは、 したは、 したは、 したは、 したれば、 とます。 というものではなく 宣をます。 というものではなく 宣をます。 というものではなく 宣をます。 - で開催された。 昭和二十三年) 権 基

的

権

0

重

z

in the

で下さ

VZ

9

権利を踏みに 権利を踏みに

談内容は秘密にいたします。 ・ は一切かゝりません。相 は一切かゝりません。相 は一切かゝりません。相 は一切かゝりません。相 は書面で

権擁護委員は法務大臣

**人権 擁護委員は** 

本市の人権擁護委員は

保険者で

保険者である、市町村る住民の共助精神の欠る住民の共助精神の欠

ある

飯詰字福泉 大 町 三五

者の不幾の或は医師の 大を見せなかつたの でを見せなかつたの を見せなかったの を見せなかったの を見せなかったの

はなく「官尊民卑、権力や暴力の前も応いたく」「官尊民卑、権力や暴力の前も応いなく」「官尊民卑、権力や暴力の前も応いなく」「官尊民卑、権力や暴力の前も応いなく」「官尊民卑、権力を暴力の前も応いなく」「「関が強く根をはつており、は何世をがらに、わが国のノー」 国れているにもかゝわらず、一人権宣言の大理想が掲げられ、 国際社会においても世界

までも市民の幸福のため長となりましたが、あく市民の信任を得まして市

一民 貯 蓄 知原市役所内

組

な訓辞を行なつた。

あつかうところ相 談 を と り 権擁護委員 の 自

に場につとめる任務をもつてくれている。にあらゆる努力をはらい、くれを教育するため、 にれあ 必要な助言をしますなたからの相談があ

の民主化に္の大きかなる等であるが、 的自覚つまかなる等であるが、 の内は、 ののになって、 のので、 である。付費を多額にという主相互共済制度となっている。 から 0 た

理は



山內市長登

11月18日職員に訓辞

発行所 青森県五所川原市役所 電 (代)2・111 経 済民生部市民課 編集人 印刷所 陸 奥 印

市の人口と世帯数11月末現在

総人口 49.372 男 24.211

しいこととなりましいるとなりませ は歳末公私とも何かとおだき、当みとなりました。皆さんにも圧倒みとなりました。皆さんにも圧倒する難を極めました昭和ンに揚げ事多難を極めました昭和ンに揚げ 肖私が市長改選に当りいことと存じます。 ②健全な を極めました昭和 何かとおだき、当時でもにも圧倒れ

はありませんが、私は市職 し会の御協力と市民各位の御 会の御協力と市民各位の御 会の御協力と市民各位の御

会議場に集め大要次のよう初登庁し直ちに全職員を職山内新市長は十一月十八日

九年、当時の五所川 をたどますれば四年前の昭 ことと 、私の終生忘れる。を有するこの道のベテラ選の栄誉を得まし、も当選された多彩な政治的な御支持をいた員から県会議員、代議士したところ、幸い、た外崎千代吉氏は、町会会 市としての性格を持つく新でもあると銘記いたしております。 全年十月一日これが実現を 見たのですが、初代市長選まして目下赤字の計数を急明る 等において私は不徳の致すいでもります。 ところ僅少の差を以て敗退皆さんに御報告申上げたいでも 能会議員として地方自治体 の行政運営について勉強し、 の行政でいて、 の行政でいる、 の行な、 の行政でいる、 の行な、 の行政でいる、 の行な、 の行政でいる、 の行政でいる、 の行な、 の行な、 の行政でいる、 の行な、 の行政でいる、 の行な、 のでいる、 のでいな、 の

紀任の御挨手と御健勝

施

0

增

强

みんなて頑張ろう 実施期日

精来るて日る顔とれた

郡市町村宛に案内書を送社協との連絡に当りまた 県社協はNHK、郡市 信機の寄贈を受ける。 三日までに不用ラジオ受昭和三十三年十二月二十



に今までは街路

今をめ

お持参いのと

の払込期

街

電球交換の

写真 表 彰

忍 元 士津 児 代清正哲 り修隆展 弘 子孝 子子子子 名 子孝樹美 子二博子 子 と灯願 出があったいる 旅

派 館

適格者に

策コンス第二次 利取、路面補係 シクリートの新 とおります。作 がある。作

者を吸収し『特別生、対策 定所で認定した『生 対策 収して労働力の培業』を吸 の経済的効果をはか てい の経済的効果をはか てい の経済的効果をはか てい で、これら『失業』策事 で、これら『失業』である者は「業の で、これら『失業」である者は「業の をいる。 で、これら『失業」である者は「業の で、これら『失業」である者は「業の で、これら『失業」である者は「業の で、これら『失業」である者は「業の で、これら『失業」である者は「業の で、これら『生」が第一 事業の開始は

砂防施設整備事業

益のでこの暫

車事事

(NHK)との記し合いで、 を等から、使用していないランオ受信機のご寄贈を願いところに各家庭、事業場を ジオ受信機のご寄贈を願いないランオで、 これをNHKで修理のうえ これをNHKで修理のうえ これをNHKで修理のうえ これをNHKで修理のうえ これをNHKで修理のうえ いしますが本県初めての試み 野電 明るい正月を迎えたいと存 環として実施し、みんなで 福祉協議会青森放送局一、主催 五所川原市福祉協職会 生活に恵まれな ラジオを贈る運動 協に係員を派遣する。 趣旨を徹底させる。 明るな -三台を一台に更生D 配線の変更、或いは二 ヨる(商品の取換え、 で放送する。 との円満な解決を お正月を 信機の修理更生に とい費用をもつ 要 L 国保が国民全般と ・ として我が国に生力の最 ・ として財産の国保が国民生から ・ この制度が今日のようになります。 ・ この制度が今日のようになります。 ・ この制度が今日のようになります。 ・ この制度が今日のように大きな、 ・ ことは生力の最低の深さを覚えまた。 ・ この制度が今日のように大きな、 ・ ことは、 ・ とと、 ・ ことは、 ・ こ になう子供等にこそ日本 一なさんはよく健康な赤ちーなさんはよく健康なわが子を育ててくれた』と感 の言葉があり、約三十名 と感があるのであつて、 と感があるのであって、 及次失業者が増加し、更に 其の後多数の発生が予想されるにいたりました。 す。即ち『失業対策事業』 に基ずいて失業者の多数発生が予想されるにいたりました。 はこの『緊急失業対策事業』 生する地域を重点に国又は 地方公共団体に対して事業 健康な赤ちゃん 本市で表彰 三十八名に賞品 影者は次の通りこれの通りでを分にませてい 十九八 六五四 七

べきこと

への内容をもつ自由ないれを守るという運動は、国ろこんなことをいうのでし権宣言が採択され、これがして、の権利義務の章に基本国とが達成すべき共通の基するの基本的人権にはいろこうして人権を尊重し、これがしてのの基本的人権にはいろこうして人権を尊重し、これがしてのの基本的人権にはいろこうして人権を尊重し、これがしてのの基本的人権にはいろこうとの国民とすべてのり、の格別であり、一次の場合であります。

のなたの味方でするなたの味方です

五事件の申告や相談は書面で表よいのです、費、時内容は秘密にいたします。本市の人権擁護委員は大町三五 古川第三郎 
広話字福泉 今 
嘉四郎

その原因は被保険者である、市町村当屋者の不熟心或は医師の不知の世情から見て是非とも、一人ではならないものであって、国保が過ごを見せなかったのであった。 一進一退で健全などを見せなかったのであった。

的人権が侵されないようにら委嘱されて、国民の基本人権擁護委員は法務大臣か

を沢) が川原、弘前、八戸、鰺ヶ 所川原、弘前、八戸、鰺ヶ で沢)

善い事を自分の手柄で、悪いことは人の所為にしたがる心である

少しも求めずに愛せよ。これが愛の祕訣である。 めた愛は必ず不幸に終る。

新しきものを喜んで受容れる心は生長する心である。 絶えず機会を摑む心は柔軟な心であ

(な)

基

権

0

尊

重

ゃ

ŵ

で下さ

9

若し人権が侵されていると ・ 認められたときは、人権獲 り単独で或は共同で直ちに 調査します。そしてそのさ もめごとの円満な解決をは かります。

発行所 青森県五所川原市役所 発行兼 経済民生部市民課 編集人

印刷所 陸 奥 印 刷 株 式 会 社

にしいことと存じます で候補し五所川原市政 で候補し五所川原市政 で候補し五所川原市政 で候補し五所川原市政 ではなる。 の確立 ②健全なる無 の確立 ③健全なる

市の人口と世帯数11月末現在 (但し外国人を除く)

総人口 49•372 男 24•211

就

任

0)

挨

五所川原市長

川

## 山内市長登

11月18日職員に訓辞



会議場に集め大要次のよう初登庁し直ちに全職員を議山内新市長は十一月十八日

福祉協議会青森放送局一、主 催

・ 彰者は次の通りで に分けて行なわれる。 虚弱に に分けて行なわれる。 をうるませている。

要 項

五所川原市福祉協廣会

大学・ であるときかされてい、市内の各金融機関におります。

一は、協力を選んでやみま

一とは私としては本当に不 さて、最近では、金の価 とは私としては本当に不 さて、最近では、金の価 とは私としては本当にかい。 本年も皆様のご丹精が実 まで知られている。明るい に対する しいかぎりです。 とは私としては本当に不 さて、最近では、金の価 とは私としては本当に不 さて、最近では、金の価 とは私としては本当に不 さて、最近では、金の価 とは私としては本当に不 まいりますと、よろこは 三、 を作りあげるために職 になつておりますが 上昇しており、貯蓄の必要 高との努力を望んでやみま エ所川原市役所内 国民 貯 蓄 組 合 工所 に なっております。 

「国と私は尚一層の努力を 工所川原市役所内 国民 貯 蓄 組 合 
「本年も皆様 
「本当によること 
「国と私は尚一層の努力を 
「国と私は尚一層の努力を 
「国と私は尚一層の努力を 
「国と私は尚一層の努力を 
「国と私は尚一層の努力を 
「国と私は尚一層の努力を 
「国と私は尚一層の努力を 
「国と私は尚一層の努力を 
「国と私に 
「国と私に 
「国と私に 
「国本がありますので窓口に 
「国本があります。 
「国本がおります。 
「国本がようないます。 
「国本がおります。 
「国本がようないます。 
「

2 ① 県社協はNHK、郡市町村宛に案内書を送郡市町村宛に案内書を送

趣旨を徹底させる。、放送、新聞等により

展市役所内

組

信機の寄贈を受ける。三日までに不用ラジオ受昭和三十三年十二月二十



原町長として地方自治体の産年十月一日これが実現を 中としての性格を持つを新でも近いの世格を持つを新でる所川原市のの誕生に努めり からない から と から と から と から と から と から と と から と から と と から と と から と と から と から と から と から と から と

政運営について勉強し似る財政再建の業は容易で 政運営について勉強し 市政から去つて以後県と考えております。 において私は不徳の致すいでおり年が改まると逐次に において私は不徳の致すいでおり年が改まると逐次に において私は不徳の致すいでおり年が改まると逐次に にいて利は不徳の致すいでおり年が改まると逐次に のですが、初代市長選まして目下赤字の計数を急 明

中民の皆さん 企業の育成を三大スローガ て参りました。 はありませんが、私は市職会と何日を余すを仰ぎましたところ、幸いた身崎千代吉氏は、町会議 支援により全身全霊を打ちたした。皆さんにも圧倒的な御支持をいた員から県会議員、代議士に込んで責務を全うする覚悟として出す。 たことは、私の終生忘れるを有するこの道のベテランを諒せられんことをお願申長改選に当りことのできない感激でありであり、市政担当者として上げます。 加原市政の運こュに紙上を以て、厚くお最適任と確信しておりまし、当選の銀行の御客との所信を礼を申上げる次第でありまたが、その後四ヶ年の行政 はありませんが、私は市職の選に当りことのできない感激であり、市政担当者として上げます。 はありませんが、私は市職の金なる財政す。 実績は私どもの考えていたを祈念して私の就任の御送をなる農業振 顧みますれば四年前の昭ことと全くうらはらの方向 拶といたします。 全なる農業振 顧みますれば四年前の昭ことと全くうらはらの方向 りといたします。 会立る農業振 顧みますれば四年前の昭ことと全くうらはらの方向 りといたします。 10十一年、当時の五所川をたどり今日見る如きぼう

ラジオを贈る運動

家庭に お正月を明る い N なで すべて職業安定所の監督を 織、応能賃金が一元化され等 脱労日数、輪番制、監督組 吸収を目的とするたてまい ののでは、 ののでは、

十九八七六五四

お力を望んでやみません。 でもありますので特段のご 明るい正月を迎えたいと存 でもありますので特段のご かんなで

私に課せられた責務のうせるの解消策と財政の建て直してあり、その措置の完了を 第の発展を図ることにある。 第の発展を図ることにある。 第の発展を図ることにある。 が、ことにあると確信しておりますし、そこの がでもあると銘記いたしております。 で、CNHKンとの話し合いできるとに決定しました。 な、ジオ受信機のご寄贈を願いところに各家庭、事業場を等から、使用していないラーでは理のうえでは理のうえでは、方がおに恵まれていない方では、方がおに恵まれていない方では、た記の要項で贈ると、たいでは、方に、方にの要項で贈るという。

「核の極みであります。」 市民の皆さんと共に誠に遺れたな赤字を招来したことは

本では、 ・ は更にこ数しては、 ・ であり地方子(F ・ でありまするとのであり地方子(F ・ では、 事事事

全では労力費、事務に こでは労力費、事務に この二資材費の二分表 に額の国庫補助金が の工資材費の二分表 では労力費、事務に た設事業の負担に益 の工資材度のに対政第 で業対策事業に大きい で業対策事業は主と



マー大平三 アー大平三 アート 富 京美 子磐子之子子

の民主化に繰り等もある の民主化に繰り等である の民主化に繰り等である の民主化に繰り等である の民主化に繰りまかり等である の民主化に繰り等である 交后 支に 私 かん かん し電

いと何

しはめ切おは 下の場でである 换 0 る金はし

を 3

市中川草 其藤麻真 浄 花成小一 渡桜小外 寂 田田林戸 辺庭田崎 馬

ゆ桐 代清正哲

よきゆ かとゆと 氏 昭光恭清 士士保光 志 りく ロきみ 名 之子子文 子男宏徳 子

お事定業り業所

す経し作業を 一成し『特別失業対 で可能の失業者を でれら『失業対策 ではかつて が記覚した『失業対策 を記労する者は職業 を記労する者は職業 を記労する者は職業

防施設整備事

THE